

苦痛少ない大腸内視鏡検査

東京都の会社員A子さん(43)は、昨春から下腹部の違和感を感じていたが、「苦しいのは嫌」と、検査をためらっていた。以前、大腸内視鏡検査で、脂汗がにじむほどの苦痛を経験したからだ。だが、昨年十一月に受けた検査は、十分程度で終わり、不快感はまったくなかった。異常もなく、「今後は数年に一回は検査を受けたい」と話している。

日本人のがん死因で、肺がん、胃がんに次いで多い大腸がん。特に五十歳以上では危険が高まる。大腸の内視鏡検査を受けるのが早期発見の有力な方法だ。

大腸の長さは一尺前後。小腸との境目の盲腸から結腸、直腸と腹部を時計回りに一周する形で肛門に至る。

内視鏡検査は、まず下剤で便を出した後、肛門から空気と一緒に直径一センチほどの内視鏡を入れる。内視鏡先端は医師が手元操作で指先のように動かして、盲腸まで達したら装置を引き出しながら腸内の様子を見ていく。ポリープなどの異常があれば、先端から電流を流し、痛みなく焼き切

ることもできる。だが挿入時の痛みや違和感から、二度と受けたくないという敬遠する人は多い。

「曲がりくねった腸に無理な負担をかけない検査を心がけている」と、A子さんを検査した藤井隆広クリニック(東京・銀座)院長の藤井隆広さん(46)は言う。藤井さんは国立がんセンターなどで約十五年、内視鏡検査を担当してきた。

直腸からS状結腸に至る部分は、人によっては鋭角に曲がりくねっていて、挿入技術の差が出やすい。視野を確保しようと空気を入れ過ぎた

り、曲がった腸に無理やり内視鏡を通そうとしたりすると、痛みが強くなる。

「内視鏡の先端を腸壁に引っかけて、S状結腸をまっすぐに伸ばし、らせん状に入れていく」(藤井さん)のが、苦痛が少ない挿入法だという。藤井さんは内視鏡を無理なく通すため、検査中に患者

をおおむけや横向きにするなど体位を変えている。

鎮静薬、鎮痛薬を使用するの苦痛を少なくする方法で、広く行われている。慣れている医師であれば、挿入に五分程度、検査自体も特に異常がなければ十分程度で終わる。

検査前に医師の技術が高いかを見極めるのは難しい。目安になるのが、検査件数の多さと共に、患部を百倍以上で拡大できる「拡大内視鏡」

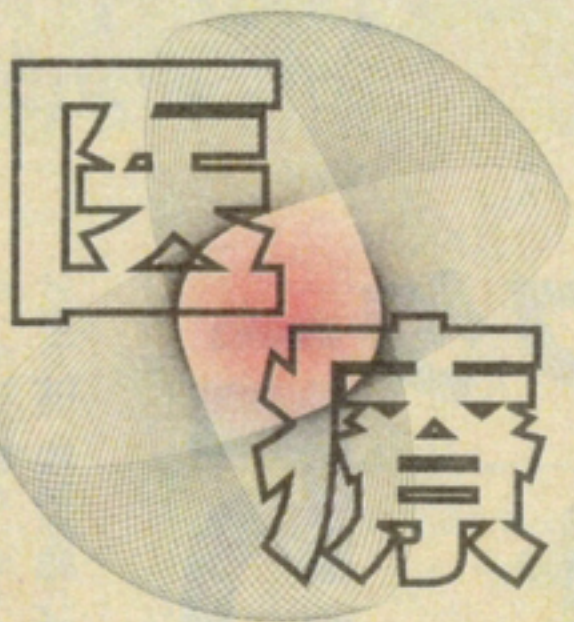
を備えているかどうか。粘膜炎が盛り上がり表面がつるんとした「過形成性ポリープ」は、五十歳以上の九割にあるといわれ、基本的に切除しなくていい。だが、同じような形でも良性腫瘍の「腺腫」は見極めは通常の機器では容易ではないが、拡大内視鏡なら大半は区別がつくため、無用な切除は減り、費用も安くなる。切除すれば診療報酬が加算されるからだ。

患部がへこんでいる陥凹型がんも拡大内視鏡で見分けやすい。まれながんだが、進行が早く、内視鏡でしか早期発見の方法はない。

受診予約時に拡大内視鏡を使用しているかを尋ねるのも一つの方法だ。導入施設は全国に八百程度あり、最新型は百台弱が普及している。さらなる普及が望まれる。

内視鏡検査は保険が適用される。(石塚 人生)

拡大鏡併用でがん発見容易に



(毎週火曜日掲載)

このページは医療情報部、科学部が担当しています。ご意見、情報提供は〒100・8055読売新聞東京本社 医療情報部 ☎03・3217・1958 ファクス03・3217・1960 電子メール iryou@yomiuri.com

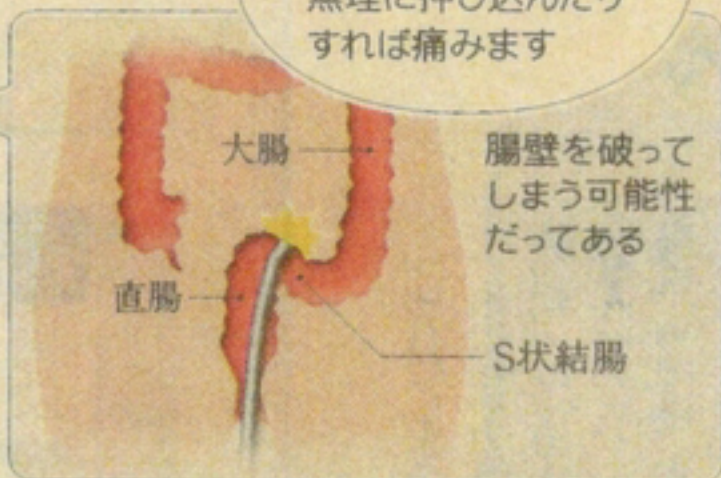


大腸内視鏡検査

患部:大腸

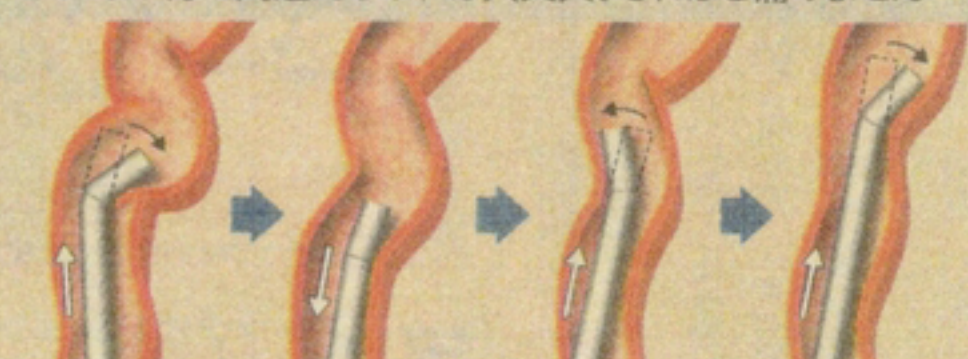
大腸がんを早期に見出すには内視鏡が最も重要です

たしかにS状結腸を通す際など、内視鏡を無理に押し込んだりすれば痛みます



腸壁を破ってしまう可能性だってある

でも、やり方を間違えなければ大丈夫。それほど痛みません



内視鏡は、先端で大腸のひだを引っかけ、カーブをゆるやかにしつつ、ねじりながら進めていきます

うちは最近拡大内視鏡も導入しました。陥凹型がんの診断が確実になりますし、安心して検査を受けていただけたと思いますよ



以前大腸に内視鏡を入れた時、痛くて痛くて、できればもう受けたくないのですが

このお医者さんならしっかりと検査してくれそうだ...

作図:デザイン課 佐久間友紀

拡大大腸内視鏡での検査を行う主な医療機関 (主に消化器内科)

医療機関名	所在地	電話番号
秋田赤十字病院	秋田市	018・829・5000
仙台市医療センター仙台オーブン病院	仙台市宮城野区	022・252・1111
国立がんセンター東病院	千葉県柏市	04・7133・1111
国立がんセンター中央病院	東京都中央区	03・3542・2511
順天堂大	東京都文京区	03・3813・3111
昭和大	東京都品川区	03・3784・8000
多摩がん検診センター	東京都府中市	042・327・0201
昭和大横浜市北部病院	横浜市都筑区	045・949・7000
北里大東病院	神奈川県相模原市	042・748・9111
静岡県立静岡がんセンター	静岡県長泉町	055・989・5222
佐久総合病院	長野県白田町	0267・82・3131
広島大(光学医療診療部)	広島市南区	082・257・5555
高知医大	高知県南国市	088・866・5811
久留米大	福岡県久留米市	0942・35・3311
藤井隆広クリニック	東京都中央区	03・3544・6266



※どうする老人医療、これからの老人病院 痴呆高齢者とどう関わるか 21日午後1時30分、東京都千代田区大手町サンケイプラザ。医師らによるパネル討論。無料。名前、電話番号を書き、老人の専門医療を考える会(ファクス03・3299・6666)へ申し込む。問い合わせは同会(☎03・3299・6666)。

※シンプジウム「がん疫学」の市福祉会館。医師が、一人20分の個別相談に応じる。定員30人。予約、問い合わせは東京難病団体連絡協議会(☎03・3299・6275)。

※痛風友の会講演会 21日午後1時30分、東京・千代田区の霞が関ビル33階。東京都立大塚病院リウマチ膠原病科の後藤真良院長を講師に招き「老化をめぐる話題」のテーマで話を聞く。無料。問い合わせは同会(☎03・3299・6666)。

※「血友病とともに生きる」子供の自立と家族の役割 22日午後1時30分、東京都千代田区アルカディア市ヶ谷。手作りの絵本や道具を使って、子供に血友病を理解してもらおう取り組みを上演。弁護士や患者家族によるシンプジウム。無料。問い合わせははばたき福祉事業団(☎03・5228・1200)。

※クロン病・潰瘍性大腸炎無料医療相談 22日午前11時~午後4時。東京都小金井

5228・1200)。